

平成27年度会津大学外国人留学生後援会 (SAISUA) 事業報告 (案)

SAISUA では入学直後で生活が安定しない外国人留学生を対象に、奨学金の支給及び国民健康保険料の一部補助を行っています。また、留学生が学内や地域で孤立することなく、明るい学生生活を送れるように、学内での活動や地域の小学校との交流活動等を実施しています。

SAISUA 生活支援事業

《生活支援》

奨学金の支給：前期 2名 (@35,000円×6か月)

後期 3名 (@35,000円×6か月)

※内訳：ナイジェリア1名、スリランカ2名、

ベトナム1名、台湾1名

SAISUA より奨学金を授与された留学生は、会津大学の行事や地域のイベントに参加し、以下のような国際交流活動等に参加することが義務付けられています。

- ・地域の小学校を訪問し、自国の紹介を行うこと。
- ・大学訪問者のキャンパス見学での案内を行うこと。
- ・会津大学の学園祭で、国際交流活動等を紹介すること。
- ・会津大学グローバル推進本部国際戦略室が企画・運営する各種活動でボランティアに従事すること 他



SAISUA 関連行事 (学内・地域交流活動)

《ウェルカム・パーティー (歓迎親睦会)》

年月日：平成27年5月13日(水)

平成27年11月18日(水)

場 所：会津大学厚生棟2階「樺」

4月に入学した留学生と新任の教職員を歓迎するウェルカム・パーティーを5月13日(水)にSAISUAとグローバル推進本部との共同で開催しました。岡学長、程副学長(グローバル推進本部長)、SAISUA会長のキム・ロッケル准教授を始め、スリランカやアメリカの留学生など、56名の学生と教職員が親交を深めました。

11月18日(水)に開催された第2回目のウェルカム・パーティーには、ベトナムやナイジェリア、中国や台湾、ロシアからの留学生や国際交流に関心がある日本人学生、教職員合わせて45名が参加しました。

歓迎親睦会として開催された春と秋の2回のウェルカム・パーティーですが、参加者同士が連絡先を交換し合うなど、新しく大学に来たメンバーと迎える側の人たちとの交流を深めるための、絶好の機会となりました。



《会津大学学園祭「蒼翔祭」での活動》

年月日：平成27年10月10日（土）、11日（日）

場 所：会津大学キャンパス 模擬店会場

会津大学学園祭「蒼翔祭」においてSAISUAとして出展し、「スリランカ・カレー」を提供しました。「スリランカ・カレー」の調理に当たっては、本学に在学するスリランカの留学生5人全員が協力してくれました。

また、カレーの販売やブースの運営に当たっては、スリランカの学生の他にベトナムや中国の留学生、日本人の学生が頑張ってくれました。

2日間とも、カレーの提供の30分後には完売になるという大盛況ぶりで、来場者からは「ぜひ来年はもっと大量に提供して欲しい」といった声が多く聞かれました。

学園祭におけるブース出展は、運営に携わる学生や教職員たちの交流に資するだけでなく、会津大学における留学生たちのプレゼンスを多くの人に示すことができる、大変貴重な機会になっています。



《インターナショナル・トーク》

年月日：平成27年12月2日（水）

平成28年2月16日（火）、17（水）

場 所：研究棟128会議室（12月）

研究棟S8講義室（2月）

SAISUA とグローバル推進本部国際戦略室の共催により、12月と2月に渡ってインターナショナル・トークが開催されました。

12月のインターナショナル・トークでは、海外に留学した日本人学生から体験談が語られ、留学生たちからは自国の文化の紹介がなされました。発表者によるプレゼンテーションの後は茶話会が行われ、参加者たちが国際交流に関する話に花を咲かせていました。

また、2月のインターナショナル・トークでは会津若松市国際交流協会の理事である、青山孝男氏による「会津学」の講義が行われ、参加した留学生も日本人の学生も、会津大学が所在する「会津」に関する知識を深めました。講義のあとは、留学生たちのための書道体験も行われ、日本人の学生が留学生たちにアドバイスする姿も多く見受けられました。

インターナショナル・トークは、国際理解を深める意味でも、「会津」や「日本」に関する知識を深める意味においても、会津大学の学生たちにとって重要な機会になっています。

この他にも、グローバル推進本部国際戦略室が行った各種留学生派遣事業（留学生による会津若松市内小学校訪問等）に対してSAISUAから支援を行いました。

